

# 平成29年度6月補正予算(案)の概要

## 1 補正予算編成の基本方針

6月補正予算は、当初予算編成後の状況変化に伴い、緊急に対応することが必要なもの等について予算を編成

## 2 補正予算の内容

### ①【緊急に対応が必要なもの】

「京都ワーク・ステイ」人材確保緊急対策事業費	予算額	財源内訳			備考
	49,800	国庫	起債	一般財源	⑳当初 1,000
		49,800	-	-	
【事業の概要】					
府外大学生等の人材還流(移住・UIJ就職)を促進するため、府内企業や農業法人等での就業体験、地域の魅力を体感するために要する経費					
新 北近畿タンゴ鉄道緊急安全対策事業費	予算額	財源内訳			備考
	51,000	国庫	起債	一般財源	
		-	51,000	-	
【事業の概要】					
北近畿タンゴ鉄道の安全運行を確保するため、落石の危険性がある箇所における、防護柵の設置等に対する支援					

### ②【事業計画に基づいて進めるもの】

京都アイスアリーナ(仮称)整備費	予算額	財源内訳			備考
	115,000	国庫	起債	一般財源	⑳当初 25,000
		52,000	63,000	-	
【事業の概要】					
(㉑～㉓債務負担行為 196,000)					
山城総合運動公園におけるアイススケート場の用地造成に要する経費					

### ③【今議会に提案予定の条例に基づく施策を推進するもの】

自転車安全利用推進費	予算額	財源内訳			備考
	3,500	国庫	起債	一般財源	⑳当初 2,000
		-	-	3,500	
【事業の概要】					
「自転車の安全な利用の促進に関する条例」改正を踏まえ、自転車保険加入義務化等に係る周知・啓発に要する経費					
新 福祉就労製品魅力アップ事業費	予算額	財源内訳			備考
	2,500	国庫	起債	一般財源	
		-	-	2,500	
【事業の概要】					
「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害者福祉サービスの事業の人員等の基準等に関する条例」改正を踏まえ、福祉就労事業所の販売力向上に向けた高付加価値商品の開発支援等に要する経費					

## 3 補正予算の規模

一般会計 221百万円

6月補正後予算額 915,591百万円

(㉑6月補正後 964,915百万円 対前年度比94.9%)